

SHIMANTO

四万十町通信 2026.VOL.247

10

OCTOBER



特集

知って、乗って、みんなで残そう
暮らしを支える公共交通

あなたも乗ってみませんか？



特集 知って、乗って、暮らしを支える みんなで残そう 公共交通



日々の買い物や通院、通勤・通学など、私たちの暮らしに欠かせない「移動」を支えているのが、公共交通です。鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシー、公共ライドシェアなど、それぞれの交通手段が地域の中で大切な役割を担っています。公共交通は、単に人を運ぶだけのものではありません。地域と地域、人と人をつなぎ、住み慣れた場所で、これからも安心して暮らし続けるための大切な手段です。一人ひとりが公共交通を知り、利用することが、これからの四万十町の公共交通を支える力になります。まずは、あなたの身近にある公共交通を知ることから始めてみませんか。



5 四万十町をつなぐ つの公共交通ネットワーク

四万十町の移動を支えているのは、鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシー、公共ライドシェア。役割の異なる5つの交通手段がつながり、町の暮らしを支えています。広域を結ぶJR土讃線・JR予土線や土佐くろしお鉄道、町内の各地域を結ぶ路線バス、集落と地域中心部をつなぐコミュニティバス。そして、タクシーや公共ライドシェア（地域住民同士で移動を支える仕組み）が、個別の外出を支えています。



鉄道



路線バス



コミュニティバス



タクシー



公共ライドシェア



伊藤三喜代さん（左）と谷崎直子さん（右）

利用されている方に聞いてみました

「本当に便利がいいです」と話す谷崎直子さん。町内のコミュニティバスは、買い物やお出かけに欠かせません。東京から帰ってきて7年になる伊藤三喜代さんは、「このバスがないと生活できない」と話します。

「バスに乗って出かけるのが楽しみ。車内でおしゃべりしたり、地域の喫茶店に行ったり。毎週乗っているので、乗らないと『どうしたの？』って心配されるんです（笑）」コミュニティバスは、単なる移動手段ではなく、人と人をつなぐ大切な居場所。谷崎さんはこう話します。

「免許を持っても、『バスが走らなくなったらみんなが困るから、路線を残すために乗っている』という人もいます」そんな一人ひとりの利用が、地域の移動手段を支えています。さらに谷崎さんは、公共交通ならではのこんな楽しみ方も教えてくれました。

「どう乗り継いだら目的地に行けるか考えるのが楽しいんです。道の駅とおわに行くときも、どの路線を組み合わせたら…なんだかパズルみたいで！」

予土線

「駅までは予土線、その先はバス」

予土線とバスの“乗り継ぎ”が、もっと身近に。

モーダルミックス実証実験

がはじまりました！

令和8年10月から令和9年3月までの半年間、JR予土線と四万十交通（路線バス）が連携した「モーダルミックス実証実験」を実施します。これは、鉄道とバスという異なる交通手段を組み合わせ、地域の移動をもっと便利にする取り組みです。



路線バス

ここが重要！

実証実験のポイント

その一

路線バスで「JR江川崎駅」まで移動することが可能に！

路線バス 窪川～道の駅とおわ線を「JR江川崎駅」（四万十市）まで延伸することで、予土線だけでなく、路線バスでも窪川～江川崎間を移動することができます。予土線とあわせて広域的な移動がさらに便利になります。

路線バス



10月からJR窪川駅前発着します。
高知行特急との接続もスムーズに！

路線バス 上下3便
JR予土線 上下4便

計 **7** 便になることで
選択肢が広がる！

その二

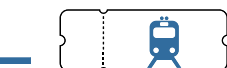
JR乗車券で「路線バス（窪川～江川崎間）」に乗れる！

JR予土線（窪川～江川崎間）を有効とする乗車券をお持ちの方は、並行して走る路線バス（窪川～江川崎間）にそのままご乗車いただけます。

路線バスもJR乗車券と同区間であれば追加料金なしで利用できるため、利用したい時間に合わせて選べます。予土線から途中の駅でバスへ、またバスから予土線へと、鉄道とバスを組み合わせた移動も可能です。例えば、JR窪川駅～JR十川駅までの切符であれば、予土線でJR土佐大正駅まで乗車し、大正駅バス停から十川駅バス停までバスに乗ることができます。



(利用例)



JR窪川駅～JR十川駅までの切符でどちらも乗れる！

詳しくは
四万十町HPで



モーダルミックスの利用方法

JR乗車券を持って
路線バスに乗車



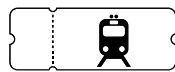
バス車内に設置してある
調査票に回答



降車時、運転手に
JR切符と調査票を渡す



+



JR乗車券でバスに乗る場合は、
調査票への回答が必要です

※予土線からバスに乗り換える場合は、列車を降りる際に乗務員へ「バスに乗り換えます」とお伝えください。そのまま切符を持って列車を降り、バスへ乗り換えることができます。

Q&A

Q. JRの乗車券は、どのようなものが対象ですか？

A. 窪川～江川崎間を有効区間に含むものであれば、普通乗車券のほか、回数券、通学・通勤定期券、フリーきっぷなどの特別乗車券類もご利用いただけます。

ただし、窪川～若井間は土佐くろしお鉄道中村線の区間となるため、窪川～若井間のみのきっぷは実証実験対象外となるほか、この区間を含まない特別企画乗車券（青春18きっぷなど）で窪川～丸山間のバスを利用する場合は、同区間のバス運賃が別途必要です。

実証実験対象外



窪川駅 若井駅
間のみのきっぷ



窪川 丸山

Q. 有効区間を過ぎてバスに乗る場合はどうなりますか？

A. 有効区間を超えて乗車したバスの区間については、別途運賃が必要です。

公共交通を使うなら、まずはここから！

ご利用になりたい路線バス、コミュニティバスおよびJR予土線の時刻を確認するときは、企画課が発行している地域別の時刻表が便利です。

地域別の時刻表は下記に設置しているほか、町ホームページにも掲載しています。

- 📖 四万十町役場 本庁（企画課、西庁舎および東庁舎の1階配架スペース等に配置）
- 📖 大正地域振興局、十和地域振興局、興津出張所
- 📖 運行する路線バスおよびコミュニティバス車内



四万十町 時刻表



四万十町HP



全国中学校ソフトボール大会 3位の快挙！

祝！陸上部とソフト部が挑んだ四国大会と全国大会

窪川中学校陸上部と窪川中学校・大正中学校の連合ソフトボール部がそれぞれ大会に出場しました。

【大会内容】

- 7月 第80回高知県中学校総合体育大会
第64回四国中学校総合体育大会（香川県）
- 8月 第53回全日本中学校陸上競技選手権大会（山口県）
第48回全国中学校ソフトボール大会（岡山県）

【試合結果】

第80回高知県中学校総合体育大会（男子ソフトボールの部）

- 1回戦 窪川・大正 5 - 0 土佐中学校
決勝 窪川・大正 7 - 0 仁淀・池川・尾川連合中学校

第64回四国中学校総合体育大会（男子ソフトボールの部）

- 1回戦 窪川・大正 9 - 0 徳島文理中学校（徳島）
準決勝 窪川・大正 7 - 2 重信中学校（愛媛）
決勝 窪川・大正 2 - 0 仁淀・池川・尾川連合中学校（高知）

第48回全国中学校ソフトボール大会（男子ソフトボールの部）

- 1回戦 窪川・大正 13 - 0 守山市立守山南中学校（滋賀）
2回戦 窪川・大正 7 - 2 長崎KSC（長崎）
準決勝 窪川・大正 1 - 7 新見市立新見第一中学校（岡山）

祝・全国第3位！窪川・大正中連合 男子ソフトボール部

男子ソフトボール部（窪川・大正中連合チーム）が、7月の県大会、8月の四国大会を共に制覇し、岡山県で開催された「第48回全国中学校ソフトボール大会」に出場しました！

全国大会では惜しくも準決勝で敗退となりましたが、どの試合も全員が最後まであきらめることなく、粘り強い戦いを展開。見事、「全国第3位」という快挙を成し遂げました。

チームが目標としていた全国制覇にはあと一歩届かなかったものの、選手一人ひとりが試合を通して大きく成長できた素晴らしい大会となりました。

窪川中学校陸上部ベストを尽くし四国大会出場へ

窪川中学校陸上部5名は、7月に開催された高知県中学校総合体育大会で入賞し、8月1日・2日に香川県で開催された四国中学校総合体育大会に出場しました。とても暑中、それぞれがベストを尽くして頑張ることができました。



四国中学校総合体育大会出場

- 女子走幅跳 野中 咲花
女子円盤投 友永 和奏
女子800m 榎野 遥
2年女子100m 本山 愛結
1年女子100m 本山 由結

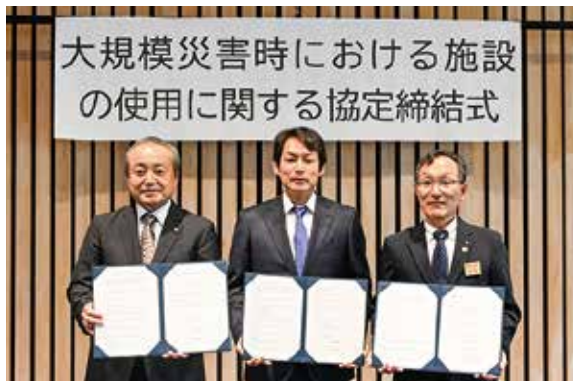
野中さん、友永さん、本山（愛）さん、榎野さん、本山（由）さん（左から）

窪川中学校陸上部 野中咲花さん 全国大会出場



女子走幅跳の部で、8月20～23日に山口県で開催された第53回全日本中学校陸上競技選手権大会に出場しました。初の全国の舞台で緊張もありながらベストを尽くしました。「高校のインターハイでリベンジしたい」と意気込みを語りました。

第53回全日本中学校陸上競技選手権大会 女子走幅跳



楠瀬須崎市長（左）、喜びフーツ中武社長（中央）、山脇町長

株式会社喜びフーツとの災害協定

町は「大規模災害時における施設の使用に関する協定」を8月12日に（株）喜びフーツ、須崎市と締結しました。

この協定は、（株）喜びフーツが所有するゴルフ場やグランピング施設を発災初期の広域避難や復旧・復興に向けた応急対策を目的とした施設の使用について協力いただけることとなり、この度の協定締結に至ったものです。大規模災害時における施設の活用や協力体制について改めて確認を行いました。



FAIRY PITTA JAZZ ORCHESTRAのみなさん

ジャズの祭典で「ナイス・プレイヤー賞」受賞！

「第41回ジャパンスチューデントジャズフェスティバル2026」が8月22日・23日の2日間神戸市で開催され、今年もフェアリーピッタジャズオーケストラ(大正中学校音楽部・四万十高校音楽部)が出場しました。日頃から中学生と高校生が力を合わせ、この大会を目標に一生懸命練習に取り組んでいました。目標としていた団体での「優秀賞」の受賞はかないませんでした。個人として松山廉さん(高校2年)がアルトサックス演奏で「ナイス・プレイヤー賞」を受賞しました。これからも地域の皆さまへ元気を届けられるよう、取り組んでいきます。



多くの来場者でにぎわいを見せる

十和地域「旧昭和中学校お化け屋敷～final～」

「お化け屋敷-final-」が8月22・23日の2日間、開催されました。今年のテーマは「迷宮迷路」、参加者は恐怖を感じながらも迷路からの脱出を楽しんでいました。そのほか、おもしろ怪談話、輪投げや射的、飲食の露店などがあり、地域住民が楽しめる催しが行われました。長年親しまれてきましたが、惜しまれつつも今回をもって幕を閉じることとなりました。主催者は「誰かを思い、誰かのためにと地域が一丸となる取り組みが、地域福祉を支えていくきっかけになってほしい」と語りました。最後の開催にふさわしく、会場は来場者の笑いあり、悲鳴ありの一日となりました。



アユのつかみ取りに真剣な子どもたち

暑い夏、大正「あゆまつり」の夏

「第22回四万十大正あゆまつり」が大正新橋下の川原で8月23日に開催されました。会場には、30軒以上の出店が並び、四万十川の豊かな恵みを感じさせるアユの塩焼きや、ウナギの蒲焼きなどの販売もありました。炭で焼いたアユを食べた来場者は「おいしい、もう1本!」と笑顔を見せていました。また、地域の団体による太鼓演奏やお楽しみ抽選会、子どもを対象としたアユやアメゴ、ウナギのつかみ取りなども行われ、大歓声に包まれました。夜には、幻想的な雰囲気の中火振り漁が実演され、最後は四万十川の夜空を彩る花火で幕を閉じました。



太鼓の達人体験

笑顔と歓声が響く！「eスポーツ体験競技会2026」開催

くぼかわスポーツクラブ主催の「eスポーツ体験競技会2026」が、四万十町窪川B&G海洋センター2階体育館にて8月23日に開催されました。昨年より2階体育館に冷房が設置され、総勢52名の参加者が涼しく快適な環境でeスポーツを楽しみました。

競技は「太鼓の達人」「30sportsGamein1」「ファミリートレーナー」「タイピング」の4種目。体験会の後には各種目の大会も行われ、会場は一層の盛り上がりを見せました。普段スポーツに親しむ子どもたちにとっても、新たなスポーツの魅力を味わう素晴らしい体験となりました。



(前列左から) 窪川高校和田校長、山脇町長、四万十高校石元校長、高知学園山下学長

地域医療人材等の育成に向けた協定締結

町は「地域医療等の人材育成に向けた連携協定」を8月25日に窪川高校、四万十高校、高知学園大学短期大学（高知市）と締結しました。

看護学科や歯科衛生学科、幼児保育学科を擁する同大学は、窪川・四万十両校に協定校入試の枠を新設し、入学後も入学金等の免除などを行うことになりました。

また、同大学を卒業した町出身者が、取得した資格を用いて町内で活躍する仕組みについて、今後、定期的に協議をしていく予定です。



第69回 金婚夫婦祝福式典

50年目の結婚記念日を迎えたご夫婦を祝福

結婚50年の節目を祝う「金婚夫婦祝福式典」が、9月1日に県内5会場で開かれました。このうち新口イダルホテル四万十の会場では、今年町内で金婚を迎えられた6組のご夫婦が出席。集まった多くの方々から温かい祝福を受け、共に歩んだ50年の道のりを感じ深げに振り返っていました。皆さんの仲睦まじいお姿は大変印象的で、これからもお二人で支え合い、健やかな日々を過ごされることをお祈り申し上げます。

金婚を迎えた
ご夫婦(敬称略)

窪田 明・詩都子

下村 富男・由美子

壬生 直徳・まさ代

竹田 泰一・和子

山崎 明博・局

中越 功雄・恵美



御年100歳の中藤幸美さんと山脇町長

敬老の日 長寿をお祝いしました

本町で100歳以上の方は45名で、そのうち今年度100歳を迎えられる方は12名です。この敬老の日併せ、希望された方々のご自宅・施設を山脇町長・富田副町長が9月21日に訪問しました。

賞状や銀杯などの記念品を手渡されたみなさんは、にこやかな笑顔を見せていました。「100歳を迎えた実感がないけど、みんなのおかげでここまで長生きできた」と感謝の想いととも、一世紀の人生を振り返っていました。

最高齢は十和川口にお住まいの岡本京さん（106歳）です。



消防ポンプ車などにも直結できる浄水器

宝くじの助成金で浄水器を整備

（一社）自治総合センターが実施する「コミュニティ助成事業」を活用し、四万十町十川自主防災組織連絡会が浄水器を整備しました。

有事の際の飲料水を確保するために整備したもので、今年度中に自主防災組織の代表や消防団、消防職員、地区住民を集めての訓練も計画されており、自主防体制の充実と強化が図られています。

この事業は宝くじの社会貢献広報事業として、地域のコミュニティ活動に寄与しています。

財政健全化法に基づく健全化判断比率などを公表します

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、令和7年度決算に基づく「健全化判断比率」ならびに公営企業会計ごとの「資金不足比率」を公表します。この法律は、地方公共団体の財政状況を指標として算定・公表し、健全化の状況をより明らかにするためのものです。

本町における「健全化判断比率(4指標)」と「資金不足比率」は、いずれも下表のとおり健全化法の基準である「早期健全化(経営健全化)基準」を下回っており、現時点では適正な水準にあります。今後も四万十町総合振興計画に位置づけられた将来像に向け、健全な財政を維持していきます。

※下表の早期健全化(経営健全化)基準および財政再生基準は、いずれも令和7年度決算に対する基準を表示しています

※各指標の算定資料の書類などは、総務課(財政班)に備えています

健全化判断比率

指 標		四万十町		[上段] 早期健全化基準 [下段] 財政再生基準	備 考(説明)
		令和7年度 決算	令和6年度 決算		
健全化判断比率	① 実質赤字比率	数値なし	数値なし	13.52 % 20.00 %	一般会計等の実質赤字比率
	② 連結実質赤字比率	数値なし	数値なし	18.52 % 30.00 %	全ての会計の実質赤字比率
	③ 実質公債費比率	7.4 %	7.1 %	25.00 % 35.00 %	公債費および公債費に準じた経費の比重を示す比率
	④ 将来負担比率	数値なし	数値なし	350.00 %	地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を捉えた比率

※「①実質赤字比率」および「②連結実質赤字比率」は赤字がないため、また「④将来負担比率」については実質的な将来負担額がないため、いずれも算定されていません

資金不足比率

指標	公営企業会計名	四万十町		経営健全化基準
		令和7年度 決算	令和6年度 決算	
⑤ 資金不足比率	水道事業会計	数値なし	数値なし	20.00 %
	下水道事業会計	数値なし	数値なし	

※⑤資金不足を生じた会計はなく、算定されていません

財政健全化法に基づく健全化判断比率などについて

健全化判断比率(資金不足比率)とは、地方公共団体における財政の健全性を示す基準の一つで、地方公共団体の財政状況を統一的な指標で明らかにし、必要に応じて早期に是正を行うことにより、地方公共団体の財政破綻などを未然に防ぐことを目的としています。

各指標には、財政規模などによって「早期健全化基準(経営健全化基準)」と「財政再生基準」といった基準が定められており、健全化判断比率のいずれかが「早期健全化基準」以上となった場合、または資金不足比率が「経営健全化基準」以上となった場合は財政健全化計画を策定し、健全化に向けて計画的に取り組まなければなりません。また、健全化判断比率のいずれかが「財政再生基準」以上となった場合は、いわゆる赤字再建団体となり、財政再生計画を策定し、国などの関与による確実な再生が求められることになります。

※各指標とも、数値が低い(又は算定されない)ほど財政状況が健全であることを示しています

令和8年 9月

四万十町議会 定例会 町長行政報告

地震等の自然災害への対応

本年7月28日に最大震度7を観測した「令和8年熊本地震」では、死者38名を含む人的被害約4百名、住家被害4万3千棟余り、8月末で今なお2千4百名を超える方が避難されています。

犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今回は、猛暑や断水が続く過酷な避難生活の中で、被災者の命と生活を守る迅速な支援が強く求められました。

本町では高知県からの要請を受け、8月18日より9月3日までに計2回、2名の職員を20日間にわたり熊本県氷川町に派遣しました。現地では、主に避難所運営支援業務を行ってき

ました。派遣された職員からは支援業務の状況や倒壊家屋など被災状況の報告を受けたところです。復興にはかなりの時間を要する状況にあることから、今後も引き続き被災地からの要請に対し、職員の派遣など、全力で応援するとともに一日も早い復興を願っています。

また、区長連絡会ではいち早く義援金の取り組みにも着手いただいており、社会福祉協議会を通じて被災地に町民の皆様のご支援を随時届けているところです。皆様方の温かいご支援・ご協力に感謝申し上げますとともに、役場・社会福祉協議会においては10月末まで受付を行っていただきますので、復興に向けた温かいご支援をお願い申し上げます。

地震のみならず、最近では異常気象に伴う各地の豪雨災害により、甚大な被害がもたらされています。

本町においても、いついかなる時こうした大規模自然災害に直面するか予断を許さない状況にあります。今回の各地の災害から得られた教訓を、本町における今後の防災行政および危機管理体制の強化にしっかりと生かしていきます。

今後も全庁一丸となって防災・減災対策の強化に全力で取り組んでいきますので、町民の皆様には、防災

意識の普及・啓発とともに、日頃の備えや自助・共助の取り組みについて、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

高知県消防広域化に向けた状況

近年、人口減少や高齢化が進行する中においても、住民の生命、身体及び財産を災害から守るため、将来にわたって消防力を維持・確保していくことは、自治体にとって重要な課題となっています。

こうした中、高知県においては、将来の消防需要を見据え、消防体制の維持・強化、職員の安定的な確保、専門性の向上、広域的な応援体制の強化などを目的として、県下全域の消防広域化に向けた協議が進められています。これまで各消防本部の現状や課題を踏まえ、市町村や関係機関との協議・検討が重ねられてきたところです。

去る9月3日、全市町村長等が参加する「第2回高知県消防広域化に関する実務協議会」が開催されました。当日は、今後の取組方針についての意見集約に加え、実施計画案を取りまとめるため、「令和11年度の本部統合を目指す案」または、指令システムの共同化が開始される時期を踏

まえ「本部統合を令和16年度まで先送りできる案」を問う採決が予定されていました。しかしながら、その採決に先立ち須崎市から本協議会からの「離脱」の申し入れがあり、採決には至らず継続協議となりました。

このような状況ですが、本町としては、今後さらに人口減少が進む中、消防職員の安定的な確保や専門性の向上、消防力の維持・充実、さらには大規模災害時における広域的な応援体制の強化を図る観点から県下全域の消防広域化は、有効な選択肢であると捉えています。

そのため、引き続き、県が進める消防広域化に関する実務協議会や専門部会等に参加し、本町に必要な課題や条件等を十分に確認しながら、慎重かつ前向きに協議・検討を進めていきます。

一方で、本町は、現在、須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町の5市町で構成される「高幡消防組合」の構成団体でもあります。高幡消防組合は、これまで、地域の消防・救急を担う重要な役割を果たしてきた組織であり、将来にわたって地域の消防力を維持・確保していくためには、構成市町間でも十分に協議を重ねる必要があると考えます。したがって、本町としては、

県が進める広域化の協議に引き続き参加するとともに、高幡消防組合においても今後の組織体制や消防力のあり方について十分に協議を進めていくことが重要であると認識しています。

その上で、住民の皆様への生命、身体及び財産を守る消防本来の使命を第一に、関係市町村、県及び関係機関と十分に連携を図りながら、将来にわたり持続可能な消防体制の構築に向け、慎重に検討を進めていきます。

なお、県の広域化に参加する場合は、今後、法定協議会の設置や広域連合の設立など、議会にお諮りする事項も生じてきます。協議の進捗状況や具体的な内容について、適宜議会への情報提供と丁寧な説明に努めていきます。

四万十川桜マラソン大会の今後の方向性

四万十川桜マラソン大会については、町村合併後の町民の一体感の醸成と、交流人口の拡大による地域活性化を目的として、平成21年4月に第1回大会が開催されました。

その後、東日本大震災や新型コロナウイルス感染症の影響により3度の大会中止を余儀なくされましたが、

本年3月には第18回大会が開催され、これまで延べ1万7千人を超える県内外からのランナーの皆様を本町にお迎えすることができました。

この大会が長年にわたり開催され、地域に根付いた大会として成長してきましたことは、実行委員会をはじめ、関係団体、ボランティアスタッフなど、多くの町民の皆様のご支援とご協力によるものであり、これまでに大会を支えていただいたすべての皆様に、改めて心より感謝申し上げます。

一方で、18年という年月の経過とともに社会環境も大きく変化してきました。

人口減少に伴い、大会運営に必要な人材の確保や公費を含む財政面での負担のあり方など、今後の大会運営に関わる様々な構造的課題が顕在化しています。

こうした状況を踏まえ、町では、大会の趣旨や規模、公費負担のあり方などについて関係者と協議し、将来にわたって持続可能な大会のあり方を検討していくこととし、令和8年度当初予算においては、同大会への補助金の計上を見送ったところです。

その後、本年7月16日には、同大会実行委員会事務局を中心とする関係者から現状規模での大会継続につ

いての提案をいただきました。

町執行部において、提案内容や大会を取り巻く状況、今後の運営体制等について検討いたしました。様々な課題の解決には至らないことから、現状規模での大会を将来にわたって継続していくことは困難であるとの結論に至り、四万十川桜マラソン大会については、第20回大会をもって終了することといたしました。

今回の決定は、長年にわたり大会を支えていただいた関係者の皆様のご尽力を思えば、町としても大変苦渋の決断であります。しかし、これまでの大会の歴史や成果を通じて培ってきた経験、人のつながり、そして地域の力を、次の段階へつなげていくための未来に向けた一つの転換点であると考えています。

これまで18回にわたり、多くのランナーの皆様が本町を訪れていただき、町民の皆様とともに大会をつくり上げてきたことは本町にとってかけがえのない大きな財産です。

今後は、第19回大会の開催に向けた準備を着実に進めるとともに、第20回大会については、これまで本大会を支えていただいた多くの皆様への感謝の思いを込めた集大成の大会となるよう、関係者の皆様と協議を重ねながら、参加されるランナーの

皆様、そして町民の皆様の心に残る大会となるよう、万全を期して取り組んでいきます。

これまで本大会を支えていただいたすべての皆様に、改めて深く感謝申し上げますとともに、本方針につきましまして、議員の皆様をはじめ、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

町民の皆様には、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。





子育て通信

内 容	日 時		場 所	お問い合わせ
4・7 か月児健診	10月14日(水)	対象者へ個別に通知	窪川地域子育て支援センター	健康福祉課 ☎22-3115
赤ちゃん相談	11月4日(水)	10:00~12:00		



健康検査・がん検診

内 容	日 時		場 所	お問い合わせ
○若者健診 ○特定健診 ○後期高齢者健診 ○結核・肺がん検診 ○大腸がん検診 ○前立腺がん検診 ※胃がん検診はありません	10月20日(火)	8:30~9:30	十和隣保館	十和町民生活課 ☎28-5112
		13:00~13:30	昭和地区基幹集落センター	
	10月21日(水)	13:00~13:30	井崎集会所	
○若者健診 ○特定健診 ○後期高齢者健診 ○結核・肺がん検診 ○大腸がん検診 ○前立腺がん検診 ○胃がん検診	10月21日(水)	8:30~9:30	十和地域振興局	
子宮頸がん検診	10月25日(日)	9:00~11:00	四万十町役場東庁舎 多目的大ホール	健康福祉課 ☎22-3115
乳がん検診		13:00~15:00		
		9:00~11:30		
		13:00~15:30		
子宮頸がん検診	11月10日(火)	9:00~11:00	大正健康管理センター	大正町民生活課 ☎27-0112
乳がん検診		13:30~15:30		
		9:00~11:30		
		13:30~16:00		

医



からだに
いいはなし

心臓弁膜症
のおはなし

④

(全4回)

今回は「弁」の手術のお話をします。

心臓弁膜症の手術には、弁置換術と弁形成術の2種類があります。弁置換術は、その名の通り自己の弁を取り除き、人工の弁に置き換える手術です。

人工弁には、(1)人工の素材から作られた機械弁と、(2)ブタやウシの組織を利用した生体弁があります。

機械弁は耐久性に優れており、壊れることはほぼないため、生体弁のように弁を取り替える手術を行う必要はありません。そのため、術後人工弁をつけた状態で何十年と生きていかれる若い患者さんにとってはメリットが多いといえます。

機械弁のデメリットは、弁のカーボンの部分に血栓が付着する危険があることです。血栓がついてしまうと、機械弁は正常に動かなくなってしまいます。このような事態を防ぐため、術後は生涯にわたりワルファリンカリウムなどの抗凝固剤を飲まなければなりません。

生体弁のメリットは、術後ワルファリンカリウムを飲み続ける必要がないことです。

ただし、生体弁は約20年で壊れてしまうというデメリットがあります。若い方の場合、心臓がより活発に動いているため、生体弁の消耗スピードも速くなり、最初の弁置換術から約10年で再手術を行う必要が生じることがあります。

また、近年では、自己心膜使用大動脈弁形成術(以下大動脈弁形成術)と呼ばれる自己の心膜を利用した新規治療が注目されています。大動脈弁形成術では、自己の心膜を使って新たな弁を形成するため、機械弁のようにワルファリンカリウムを飲む必要はないようです。現在の治療成績は生体弁と同程度となっているようです。

四万十町国保大正診療所 大窪秀直 谷中寛和 大川剛史



30分に1回は立ち上がろう



【お問い合わせ先】健康福祉課 ☎22-3115

座位行動 = 座りっぱなしは、死亡のリスクを含め、健康を大きく損なうリスクの高い行動である

日本人が座って過ごす時間は、世界20か国中、最も長い(7時間/日)ということがわかっています。すべての年代を対象に定期的な筋力向上活動を行うとともに、座りっぱなしの時間を減らすことが推奨されています。

長時間の「座りっぱなし」によるリスク

- 血流が悪化する(むくみや血栓の原因)
- エネルギー消費量が減る(肥満や生活習慣病)
- 足の筋力が衰える(腰痛や歩行困難)
→ 悪化するとリスクが上がります
- 死亡リスク(座っている時間が長い人ほど寿命が短い)
- 肥満、2型糖尿病、心臓病などのリスク

座位行動

減らそう

座りっぱなしで過ごす時間、特に余暇時間におけるスクリーンタイム※を減らす



※ スクリーンタイム … スマートフォンやタブレットなどの画面を見る時間

対策

こまめに立つ

- 30分～1時間に1回立つ …… 30分に一度立ち上がる「ブレイク30」を意識し、少し歩くか背伸びをする
- 作業姿勢を変える …… 電話中は立って話す。職場で可能ならスタンディングデスクを取り入れる
- こまめな用事 …… 飲み物を取りに行く、少し離れたトイレを使うなど、「座る」を「歩く」に変える

座りながらできる対策

- 足首を動かす …… 座ったままかかとを床につけ、つま先を上げ下げして血流を促す
- 姿勢を正す …… お尻を椅子の奥まで引き、背筋を伸ばして肩の力を抜く

自宅での対策

- テレビや動画の時間 …… CM中や動画の区切りのタイミングで必ず立ち上がる

四万十町でできること

☆動いてポイントゲット！高知家健康パスポートの四万十町独自ポイント「あるくポイント」
☆イベントに参加しよう！10月30日(金)下道・下津井ウォーキング！

睡眠不足はもちろん、寝すぎもいかん!?

皆さんは毎日何時間寝ていますか？

「睡眠不足は体に悪い」とよく聞きますが、実は寝すぎにも注意が必要です。

睡眠時間は短すぎても長すぎても、健康を損なうリスクを高めるとの報告があります。適正な睡眠時間は、年代や日中の活動量、健康状態などによって個人差がありますが、一般的には6～9時間程度を目安として睡眠時間を確保することが推奨されています。また、睡眠はその時間だけでなく、朝起きた時に「しっかり休めた」と感じられること(=質)も大切です。眠れない時には、睡眠導入剤も一つの選択肢です。薬によって特徴が異なるため、ご自身の状況に合った薬を選ぶことが大切です。睡眠導入剤での副作用(ふらつき、転倒、翌朝への持ち越しなど)にも注意し、適切に使用しましょう。睡眠やお薬についての困りごとがあれば、お気軽にご相談ください。



無料健康相談日

10月は18日(日)

11月は 1日(日)です。

どうぞ、お気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】

調剤薬局技術センター

薬剤師 田中 大夢 ☎22-1000

○休日在宅当番医

月 日	医院名	電話番号
10月18(日)	くぼかわ病院	☎22-1111
25(日)		
11月1(日)		
3(火)		
8(日)		

○休日水道修理当番

月 日	業者名	電話番号
10月17(土)	日化住宅機器	☎22-0407
18(日)	宮脇水道	☎22-1581
24(土)	高橋設備	☎22-0662
25(日)	桑原水道	☎22-1163
31(土)	横山水道設備	☎22-3608
1(日)	岩本商店	☎22-2716
11月3(火)	日化住宅機器	☎22-0407
7(土)	宮脇水道	☎22-1581
8(日)	高橋設備	☎22-0662

❗ 休日水道修理当番は窪川地域のみです。

大正・十和地域の方は各地域振興局にお問い合わせください。

大正 地域振興課 ☎27-0111 十和 地域振興課 ☎28-5111

○無料相談 (秘密厳守です。)

1日行政相談

【窪川】行政相談員 森 英真【大正・十和】行政相談員 山本 安弘

月 日	時 間	地 域	場 所	電 話 番 号
11月10(火)	10:00~15:00	窪川	農村環境改善センター 2階 第2会議室	総務課 ☎22-3111

令和8年度入札結果
(令和8年8月実施分)について

入札結果は、町ホームページにて確認することができます。
また、右の二次元コードから読み込むことも可能です。



人事行政の運営等の状況をHPに公表します

お知らせ

「四万十町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」の規定に基づき、令和7年度の下記事項について町ホームページにて公表します。



- 職員の任免および職員数に関する状況
- 職員の勤務時間その他の勤務条件に関する状況
- 職員の休業に関する状況
- 職員の分限および懲戒処分の状況
- 職員のサービスの状況
- 職員の研修および人事評価の状況
- 職員の福祉および利益の保護の状況
- その他(高知県人事委員会からの状況報告)

お問い合わせ先 総務課 ☎22-3111

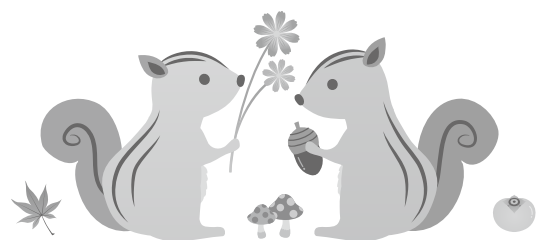
最低賃金改正のお知らせ

お知らせ

令和8年10月29日から
高知県最低賃金は、**1時間1,086円** です。

お問い合わせ先

高知労働局 賃金室 ☎088-885-6024
須崎労働基準監督署 ☎0889-42-1866



国民年金の産前産後免除について

お知らせ

国民年金第1号被保険者(自営業者・農業者・アルバイト・無職)の方が出産した際に、出産前後の一定期間の国民年金保険料が免除される制度です。

「保険料が免除された期間」も保険料を納付したものと、将来の年金額に反映されます。

すでに国民年金保険料免除・納付猶予、学生納付特例が承認されている場合でも、届出が可能です。

●免除対象期間

・出産予定日または出産日が属する月の前月から4か月間

・多胎妊娠の場合は、出産予定日または出産日が属する月の3か月前から6か月間

※出産とは、妊娠85日(4か月)以上の出産をいいます。(死産、流産、早産された方を含みます。)

	3か月前	2か月前	1か月前	1か月後	2か月後	3か月後
単胎の方				出産予定日※		
多胎の方				出産予定日※		

※届出が出産後の場合「出産月」

●届出時期 出産予定日の6か月前から届出可能

・出産後の届出はいつでも可能 ※出産日が平成31年2月1日以降の方が対象です。

●必要書類 出産(予定)日および単胎・多胎を確認できる書類(いずれか一つ)

・母子健康手帳

・医療機関が発行した出産の日などの証明書

●申請方法 窓口または郵送・マイナポータルからの電子申請で手続きが可能です。

お問い合わせ先

町民課 ☎22-3117
大正町民生活課 ☎27-0112
十和町民生活課 ☎28-5112

産前産後免除、育児免除は届出をしないと免除になりません！
育児免除は父親(養父)も対象です。

墓地の新設・移設には保健所の許可が必要です

お知らせ

最近では高齢化も進み、山の中にあるお墓を家の近くに移設する方が増えています。

自己所有の土地であっても、墓地进行新設(移設)する場合は許可が必要です。また、許可を得ずに墓地として造成したり、分譲することは法律で禁止されています。許可申請を希望する方は、右記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

須崎福祉保健所 ☎0889-42-2004
環境水道課 ☎22-3119
大正町民生活課 ☎27-0112
十和町民生活課 ☎28-5112



～くらしの中のエコろがけ～

※デコ活とは
二酸化炭素(CO2)を減らす脱炭素(Decarbonization)
と、環境に良いエコ(Eco)を取り入れた活動や生活を意味する新しい言葉です。

買いすぎ、作りすぎ、ついしていませんか？
少しの工夫でフードロスは減らせます。まずは
食べきれぬ量だけ買う・作るを今日から意識して
みましょう。

お問い合わせ先 環境水道課 ☎22-3119

中期財政計画意見公募

募集

第3次四万十町中期財政計画(前期5か年)(案)の意見公募手続きを実施します

本町では、最上位計画である総合振興計画とあわせて中期財政計画を策定していますが、令和8年度末をもって第2次四万十町中期財政計画期間が満了となります。このことから、本町の財政方針を明らかにするとともに、効果的で持続性のある財政運営のもと、総合振興計画を着実に実行するため、令和9年度から令和13年度までの5年間を計画期間とする「第3次四万十町中期財政計画(前期5か年)」の策定に取り組んでいます。

このたび計画案を取りまとめましたので、町民の皆さまのご意見を募集いたします。

意見公募期間

11月2日(月)~24日(火)

お問い合わせ先 総務課 ☎22-3111

●資料の閲覧方法

①閲覧所での閲覧⇒

本庁西庁舎1階閲覧所、大正地域振興局1階閲覧所、十和地域振興局1階閲覧所、興津出張所閲覧所

②町ホームページでの閲覧



●意見の提出方法

①意見箱による投函

②郵送の場合

〒786-8501

四万十町琴平町16-17

四万十町役場 総務課 宛

③FAXの場合

22-3123

④直接提出する場合

役場総務課へお越しください。

⑤電子メールの場合

101010@town.shimanto.lg.jp

教育行政事務の点検・評価

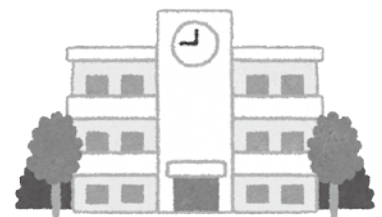
お知らせ

「地方教育行政の組織および運営に関する法律」第26条の規定に基づき、四万十町教育委員会では、令和7年度の教育行政事務の管理と執行の状況について点検・評価を行い、報告書にまとめました。

報告書は、町のホームページへの掲載、本庁・各地域振興局の閲覧コーナーに配備していますのでご覧ください。



四万十町HP



お問い合わせ先 学校教育課 ☎22-2594



もしもの時に備えて、ペットの避難準備はできていますか?避難のときに慌てないよう、フードや水、常備品をまとめ、ケージに慣れさせておきましょう。

お問い合わせ先 環境水道課 ☎22-3119

高齢者の新型コロナウイルス・インフルエンザワクチン接種の助成について

お知らせ

○新型コロナウイルス、インフルエンザワクチン接種は定期接種となっており、条件に該当する方は助成を受けることができます。

○接種時期や自己負担額については、下記のとおりです。

	インフルエンザ	新型コロナウイルス
対象者	接種日時点で四万十町に住民登録があり、以下のいずれかに該当する方 ①65歳以上の方（※65歳の誕生日の前日から接種可能） ②期間中に満60歳以上65歳未満の方で、心臓、じん臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫機能に重い障がいがある方 （身体障害者手帳1級または同程度と診断された方）	
接種期間	12月31日(木)まで ※医療機関の休診日を除く	令和9年3月31日(水)まで ※医療機関の休診日を除く
助成の回数	期間中に1回のみ	
自己負担金	1,500円	5,100円

※「生活保護受給者」は接種の際、「自己負担金免除証明書」が必要です。下記にて申請をお願いします
（本人以外が申請する場合は委任状が必要）

※接種期間以外で接種する場合は、任意接種（全額実費）となります

※接種には事前予約が必要です。直接、接種を希望する医療機関へお問い合わせください

※「県外接種」をご希望の場合は事前に申請が必要です。下記までお問い合わせください

申請・お問い合わせ先 健康福祉課 ☎22-3115 大正町民生活課 ☎27-0112 十和町民生活課 ☎28-5112

四万十町公式LINEでも情報配信中!

＼役場からのお知らせや町内の情報がLINEで届きます／

登録者数 2,700人突破

友だち登録を
お願いします!



二次元コードで簡単登録



お問い合わせ先 | 企画課 ☎22-3124

町営住宅入居者募集

募集

●募集住宅

団地名	間取り	募集戸数
七里団地(公営)	3DK	1戸
平野第2団地(公営)	3DK	1戸
江師第1団地(公営)	2DK	1戸
江師第1団地(公営)	3DK	1戸
コーポしまと1号棟(特公)	4DK	1戸
大井川団地(公営)	3DK	1戸

●申込期限 10月30日(金)必着

●必要な書類

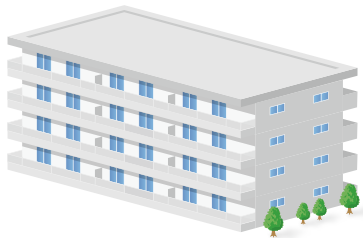
入居申込書・住民票・完納証明・納付状況調査同意書・所得を証明する書類など

●その他 ①申し込みは、1回の募集において1世帯につき1通に限ります。

②入居資格、申込方法などについては建設課までお問い合わせください。

●申込書配布場所

建設課、大正・十和地域振興局、興津出張所



お問い合わせ先 建設課 ☎22-3120

あったかふれあいセンター 事業実施者の公募について

募集

あったかふれあいセンターは、子どもから高齢者まで年齢や障がいの有無にかかわらず、誰でも気軽に集い、必要なサービスを受けることができる場所です。

四万十町では下記のとおり、令和9年度からのあったかふれあいセンター事業実施者を公募します。

●委託期間 令和9年度～13年度の5年間

●選定方法 公募型プロポーザル方式

●対象地域 窪川地域2か所

大正地域1か所

十和地域1か所

●応募方法 必要書類を持参すること

●応募期限 11月16日(月)17:00

●質疑応答 10月26日から11月2日までに、電子メールで行うこと。

メール106050@town.shimanto.lg.jp

●書類提出先

〒786-8501

四万十町琴平町16番17号

健康福祉課 地域福祉係

※詳細は、ホームページに掲載しております。公募要領および仕様書をご確認いただき、手続きをお願いいたします



お問い合わせ先 健康福祉課 ☎22-3115

令和8年度 自衛官採用案内

募集種目	資格	受付期間	試験期日
一般曹候補生	一般的 な自衛官	9月15日(火)～ 11月20日(金)	1次:11月28日(土)～30日(月)・Web試験 2次:令和9年1月11日(月)
2等陸・海・空士 (任期制自衛官)		【各試験締切日】 11月18日(水) 令和9年 1月13日(水) 令和9年 2月10日(水)	web試験(基準) □述試験・身体検査 11月21日(土)～23日(月) 11月29日(日) 1月16日(土)～18日(月) 1月24日(日) 2月13日(土)～15日(月) 2月21日(日) (定員になり次第受付を終了します。)
高等工科 学校生徒	一般	男子で中卒(見込含) 17歳未満の者	10月 1日(木) ～令和9年1月14日(木) (締切日必着)
	推薦	上記および成績優秀かつ 生徒会活動などに顕著な 実績を修め、学校長が推 薦できる者	10月 1日(木) ～11月27日(金) (締切日必着)
			1次:令和9年 1月23日(土) 2次:令和9年 2月11日(木)
			令和9年1月9日(土)～11日(月)の指定する1日

※お問い合わせは、自衛隊須崎地域事務所(0889-42-7186)までお気軽にご相談ください。
パンフレットなどもございます。

子育てを応援！松葉川地区
「子育て支援住宅」入居者募集

募集

木造平屋建てで、家事をしながら子どもの様子を見守れる「子育て支援住宅」への入居者を募集します。

●募集住宅

名 称	米奥団地5号	米奥団地7号
構 造	木造平屋建	木造平屋建
間取り	3LDK	3LDK
床面積	81.15㎡	81.15㎡
家賃額	45,000円	45,000円

- 控 除
- 小学生以下が同居する場合は一人につき5,000円/月 減額
 - 18歳以下が同居する場合は一人につき3,000円/月 減額

●主な入居資格

入居の申込時点において小学生以下の子または妊娠している者を含む世帯

- 必要書類 入居申込書・住民票・納付状況調査同意書・課税証明書

※四万十町ホームページからもダウンロードできます



- その他 詳しい入居資格、申込方法などについては建設課までお問い合わせください。

お問い合わせ先 建設課 ☎22-3120



農業者を応援！松葉川地区
「農業支援住宅」入居者募集

募集

農業を営む方を応援する「農業支援住宅」への入居者を募集します。

●募集住宅

名 称	米奥団地1号	米奥団地2号	米奥団地3号
構 造	木造平屋建	木造平屋建	木造平屋建
間取り	2LDK	3LDK	3LDK
床面積	62.09㎡	93.13㎡	93.13㎡
家賃額	28,000円/月	36,000円/月	36,000円/月

●主な入居資格

本町で自営就農する方(兼業農家を含み、耕作面積が30a以上または農産物の年間販売金額が50万円以上を目標とする方)または本町に所在する農業法人などで雇用就農する方

- 入居期間 入居から原則3年間(延長できる場合があります)

- 必要書類 入居申込書・住民票・納付状況調査同意書・課税証明書

※四万十町ホームページからもダウンロードできます



- その他 詳しい入居資格、申込方法などについては農林水産課までお問い合わせください。

お問い合わせ先 農林水産課 ☎22-3113



／入居者募集中！内見もできるよ！／



「十和村史続編」発刊のお知らせ

お知らせ

昭和59年に発刊された『十和村史』から、平成18年3月20日に四万十町が誕生するまでの旧十和村の歴史を後世に残すため、『十和村史続編』の編さんに取り組んでまいりました。このたび令和8年8月末に完成し、発刊の運びとなりました。

つきましては、以下の窓口で販売いたしますので、『十和村史続編』をぜひお手に取っていただき、あわせて既刊の『十和村史』とともに、旧十和村の歴史に触れていただければ幸いです。

- 販売窓口 企画課、大正町民生活課、十和町民生活課
8:30～17:15
※土・日・祝日は除く
- 販売価格 1冊 2,500円
※『十和村史』(5,000円)も販売しております
※『十和村史続編』とのセット購入の場合は、7,000円で販売します

申込・お問い合わせ先

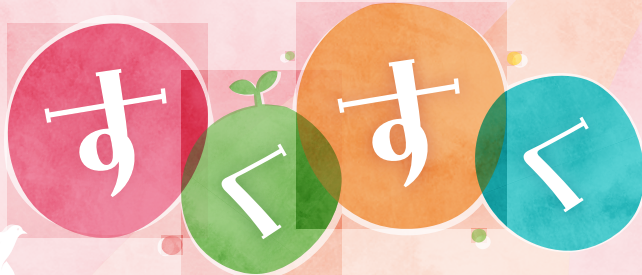
十和町民生活課 ☎28-5112



十和村史続編



十和村史・続編セット



もり いつき

森 維月さん

令和5年7月1日生まれ

香月が丘

生まれてきてくれてありがとう！
これからおいしいものをたくさん食べて、
すくすく元気に育ちますように。(沙織より)



3歳頃までのお子さまを募集しています！応募はこちらから →



【お問い合わせ先】
企画課 ☎22-3124

癒やしの古民家リトリート～三つの マッサージ体験で心と体をほぐす一日～

イベント

日頃の疲れをゆったり癒やす特別なマッサージ体験はいかがですか？ヘッドスパ・耳つぼリフレ・そして楽健法の三つの施術を通して、からだの緊張をやさしく解きほぐします。

●日 時 11月3日(火・祝)
①9:00-11:30 ②12:30-14:00 ③14:30-16:00

●場 所 古民家カフェ半平

●入場料 6,800円

●定 員 各回3名

お問い合わせ先

古民家カフェ半平 ☎22-2101

イベントカレンダー



土

31

10:00～16:00
高知のゆるキャラ集合!
ハロウィン仮装パレード
2026

(十川商店筋・十和地域
振興局駐車場)

14:00開演
ジェイコブ・コーラー
ピアノコンサート
(窪川四万十会館)



ハロウィン仮装パレード 2025



月		火		水		木		金		土			
1 10:00～15:00 米こめフェスタ (四万十緑林公園) 13:00ごろ 五ツ鹿踊り (地吉八幡宮)		2 		3 癒やしの古民家 リトリート ～三つのマッサー ジ体験で心と体を ほぐす一日～ (古民家カフェ半平) ※上部に詳細記入		4 		5  三堰		6 9:00～17:00 第63回高南台地総 合美術展覧会 (農村環境改善センター)		7 10:00～17:00 台地まつり (本町、ポケットパーク、東 庁舎、JA・窪川地域) 13:30開演 FAIRY PITTA JAZZ ORCHESTRA Live2026 (きらら大正)	
8 10:00～17:00 台地まつり (窪川市街地)		9 11:30～ 15:00 じんじゃ食堂 (熊野神社・大正 地域)		10  とおわのお茶堂		11  とおわのお茶堂		12 高南台地総合美術展覧会 6～12日まで(最終日は16:00まで)		13 		14 9:00～12:00 四万十高校体育祭	
15 15:00開演 窪川中学校定期演奏会 (窪川四万十会館)		16 		17		18 10:00～ 16:00 とおわのお茶堂 (スーパー彦市十和 店の東隣民家)		19 		20  十和		21 9:30～15:30 窪川高校文化祭 9:30～16:40 半平貸切撮影会 (古民家カフェ半平)	
22 10:00～14:00 第18回西部地区産業祭 (大正中学校) 14:00開演 吉田兄弟 47都道府 県ツアー「-極生-」 (窪川四万十会館)		23  四万十川		24  土佐大正駅		25		26 13:30～15:00 四万十町戦没者追悼式 (窪川四万十会館) 9:30～15:00 らんま先生のサイエ ンスショー (窪川小学校体育館)		27 10:00～11:45 四万十町特別支援 教育作品展 (農村環境改善センター)		28  風景林	
29 12:00～16:00 半平 お菓子とパン Vol.3 (古民家カフェ半平)		30  お米											

今月の
1枚

10/31 Happy-Halloween



イベント詳細については
ホームページに掲載して
いるものもあります。

四万十町HP
イベントカレンダー



今月の
1枚

10/31 Happy-Halloween



📷 田んぼのあぜ道に咲くニラの花



学習の基礎固めから、一人ひとりの希望に合わせた 進路実現のサポートまでを行っています！

「じゅうく。」高等部は、科目授業を中心とした生徒の学習と進路サポートを中心に活動しております。勉強に苦手意識を持つ生徒も、「これならできそう」という感覚を持てるような授業作りと、進路で抱えている課題を一つひとつ整理し、生徒自身が次の一歩を考え、行動できるようなサポートを行っています。



活動内容



数学と英語を中心とした科目授業を行い、日々の学習習慣の定着と基礎学力の向上を図っています。3年生は、進路課題のサポートや、本格的な受験に向けた準備をしっかりと支援しています。さらに、生徒自身の興味や関心を深める探究学習やその実践の場として、町内のイベントやお祭りなどへの出店も行い、地域と関わりながら生きた学びを得ています。

授業の様子(高等部)



「くぼかわ」「しまんと」の両教室にて、週に2回のペースで授業を実施しています。1・2年生向けの科目授業に加え、3年生にはより実践的な進路伴走を実施しています。進路課題に関する個別の相談から、受験に向けた集団学習まで対応し、さらに、面接練習やディスカッション、小論文対策なども取り入れ、生徒一人ひとりの志望校や目標に合わせた対応をしています。

生徒の声

実際に教室で学んでいる生徒たちからは、日々の成長を感じる前向きな声が多数届いています。

「正しい勉強方法がわかった！」

「進路を実現するためにやるべきことがわかった」といった確かな手助けを感じる声や、

「楽しくわかりやすい勉強ができる環境だからがんばれる」といった意欲的な言葉が聞かれています。

じゅうく。高等部について

- ・平成29年 「じゅうく。」始動(高等部)
- ・令和7年 卒業生インターン始動

授業実施曜日

くぼかわ教室

【1・2年生】月曜・金曜 【3年生】火曜・木曜

しまんと教室

【1・2年生】火曜・木曜 【3年生】月曜・金曜



お問い合わせ先

☎050-5482-3339 (じゅうく。)

☎0880-22-3163 (学校教育課 高校振興係)



四万十町営塾「じゅうく。」
LINEアカウント
@861lhve



四万十町営塾「じゅうく。」
Instagramアカウント
jiyuuku_smt

松山 廉^{れん}さん

(四万十高校音楽部部长)



音楽で地域に恩返しを

小学生の頃から続けてきた音楽で、地域を少しでも盛り上げたい。四万十高校2年生で、音楽部部长の松山廉さんは、そんな思いを胸に日々練習を重ねる。

大正中学校音楽部との合同ジャズバンド「FAIRY PITTA JAZZ ORCHESTRA」は、町内のイベントではすっかりおなじみの存在だ。軽快なサウンドが響けば、会場の空気もぱっと明るくなる。

演奏で心がけているのは、まず自分たちが楽しむこと。「自分たちが楽しんでないと、お客さんも楽しめないと思うんです。笑顔で演奏して『良かったよ』『頑張ってるね』って言ってもらえるのが、すごく力になります」

旧昭和小学校4年生の時から金管バンドに所属。指導に来ていた「フェアリーピッタ」の演奏を聴き、中でもアルトサックスのソロに憧れた。大正中学校に進んで音楽部に入ると、迷わずアルトサックスを選んだ。

活動が続けるうちに、生まれ育った町への気持ちも強くなった。「イベントでは、地域の人たちが楽器の運搬を手

伝ってくれます。皆さんに支えられて活動ができているので、僕たちの演奏で恩返しというか、町を音楽で盛り上げられたらいいと思います」

今年のよさこい祭りでは「四万十町よさこい踊り子隊 四万夢多」と初共演した。地方車に乗り、熱気に包まれて演奏した2日間。「踊りに合わせて吹く機会はなかなかないですし、たくさんの人の前で演奏できたのはすごくいい経験になりました」

これまでの大会では緊張することもあったが、8月下旬に神戸市で開かれた「ジャパンスチューデントジャズフェスティバル」では、よさこい祭りでの経験が自信につながった。落ち着いて自分の力を発揮し、「ナイス・プレイヤー賞」を受賞した。

11月の定期演奏会を最後に部活動を引退するが、音楽はこれからも続けたいという。「卒業後も地元に残って貢献できたらと思います」と笑顔を見せた。



町にはこんは waza も

仁井田米コメッツの新キャプテン! 西井 碧^{あおい}さん 窪川小学校5年

小学1年生からソフトボールを始め、今年9月からは「仁井田米コメッツ」のキャプテンとしてメンバーを引っ張る。「みんなで声を出して、元気のいいチームにしたい。部員も募集中です!」。2年連続の全国大会出場を目指し、練習に励んでいる。

ちよい
waza!!

こだわりの「技」できらりと光る四万十町の人々を紹介します。
ちよいwaza!!は随時募集中!▶



そこに 学校があった 休廃校の歴史

大奈路小学校 下道分校(上)



涙ぐましい苦労の歴史

大奈路小学校には分校があったことを記しておかねばならない。下道分校である。周辺地域同様、下道分校の歴史には、大正地区北部の「山また山」に生きる人々の「学校教育を受ける、受けさせるための涙ぐましい苦労」が詰まっている。

下道分校の前身は蔵正庵という寺、つまり寺子屋である。明治30年、芳川との巡回形式で授業を行なう下芳尋常小学校下道巡回教授場となる。その後、下芳尋常小学校が廃止され、大奈路尋常小学校下道分教場として、春日神社社地に校舎が建てられた。しかしそれから10年の間に村の財政が逼迫。廃止統合を余儀無くされる。これにより苦労を強いられたのは当時の子どもたちであった。

このことについては大正町史に詳しい。明治時代、村の山間には道路らしい道路はなく、谷川を渡るにも丸木橋が渡されている程度で、大人でも通行困難な「けもの道」がほとんどだったというから、6～7歳くらいの子どもが何キロも歩いて通学するなど、危険極まりない状況だった。「学校に行かにはあならん。と言われ一度出席したことがあるが、途中の小橋を渡るのが恐ろしかったので、その後は一度も出席しなかった」という、下道の古老の話も残っていると記録されている。

「親心」「地域心」で戻ってきた学校

そんな状況であるから、さすがに大人たちも動く。一旦廃止になった下道分教場は、翌年に下道家庭教育場という名で認可請願書が出され、さらにその4年後にやっと再開されるに至る。大奈路尋常小学校下道分校として、下道の子どもたちが安心して通える学校が当地に戻ってきたのである！1917(大正6)年のことであった。

子を思う「親心」、子どもたちを思う「地域心」が生んだ学校と言って良い。下道で暮らす大人たちの、小さき命たちへの温かい眼差しと思ひこそが、下道分校の復活を実現させ、さらにはその存在を支え続けた。

子どもたちのために！学校のために！ 地区のために！

時代は進み、人々の暮らしぶりも少しずつ変わっていったが、分校を支えてきた地域住民たちの「初心」は変わらない。1956(昭和31)年、ある教員が分校に赴任することになった時のことだ。地区住民たち十数人が、ダムの向こう岸を走る国道439号までその教員を迎えに行った。そこで荷物を受け取ると、それらを皆で担いで堰堤を歩き、下道側まで運んだ。そこから集落までは森林軌道を使った。そうして出迎えた教員に、住民たちは言ったそうだ。「先生、下道の住民になってよ！」と言われた教員も「子どもたちのために！学校のために、地区のためにやっといこう！」と決意したという。

さて、その頃の分校は現在の場所ではなく、春日神社から少し下った所にあった。そして、クラスは、1・2・3年生で1クラス。4・5・6年生で1クラスの計二組の複複式。敷地は運動場を確保するだけの余裕がなかったため、体育の時間や運動会などでは、子どもたちは校舎の周りを走った。それでも「学校が地区内にある」ことの意義は大きく、山里に聞こえる子どもたちの歓声は下道の人々の「分校愛」を深めていくのだった。(次回に続く)



現在の場所に移転する前
(昭和30年頃)



運動会の練習。運動場を十分に確保できないため、校舎の周りを走った。



1・2・3年生の授業風景
(昭和30年代)

町のうごき

(8月31日)	人	口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	6,870	-21		男 3	18	11	17
女	7,415	-17		女 0	13	10	14
計	14,285	-38		計 3	31	21	31
世帯数	7,744	-19		(8月中の届出)			
窪川地域 10,224人		大正地域 1,960人		十和地域 2,101人			